平成23年度 決算説明書/事務事業評価シート

前年度課室名 健康推進課 課 名 市民生活課

又 質	款	項	目	決算書	<u> </u>
♪ 昇	4	1	1	124	頁

目	名	
保健衛生総務費	•	

事務事業名称 母子保健事業

1. 概要

業概

 目的
 安心して産み育てられる環境づくりをおこなう
 対象
 ・就学までの乳幼児・妊婦・妊婦・不妊治療を希望する者

〇幼児健診事業

- ・1歳半・3歳半健康診査・・・・・・医師や歯科医師の診察、発育発達チェックを行い、疾病の早期発見、子育てへの助言、支援を行った・母子保健事業(幼児精密)・・・発達や子育て不安のある親子を対象に、心理士や保育士等が相談に応じ、各種サービスへつないだ
- 〇周産期保健事業:
- ・母子手帳交付・・・妊娠から出産、育児までの健康管理手帳で、同時に妊婦・乳児一般健康診査受診票を交付
- ・すくすくひろば・・・生後4~5カ月児と6~7カ月児を対象にベビーマッサージや離乳食などについて学習
- ・パパママひろば・・・妊婦とその夫を対象に妊婦体操やお産の呼吸法、栄養、口腔ケア等について学習
- ・赤ちゃん訪問・・・・育児不安の軽減と産後うつの予防、早期発見のため、生後4か月までの乳児に保健師が訪問
- ○妊婦乳児健診事業・・・・母子健康手帳交付時に発行[①妊婦:14回分の受診券、②乳児:3~6カ月と9~11カ月の2回]
- 〇不妊治療費助成事業・・・・・不妊治療を受けている夫婦に一般不妊治療費(5万円/年度)と特定不妊治療費(10万円/年度)を助成
- ○愛育会事業・・・・地域にすむ母子が集える場を提供するため、豊後大野市愛育会に母子交流事業を委託
- ○母子保健事務費・・・母子保健に関する事務及び小児慢性特定疾患・難病患者等の事業
- ○保健センター運営事業・・・犬飼・千歳・大野保健センター・朝地母子センターの管理運営経費

臨/経	事業名	事業内容(主な	() 経費等)	予算現額	決算額			内訳		評価
	7 7 1		产社员 47	(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	рт іш
経常	幼児健診事業	1歳半12回 249人 3歳半12回 246人	委託料	2,057	1,887	15			1,872	3
経常	周産期保健事業	赤ちゃん訪問252人 すくすく広場 163人 パパママ 48人	報償費	446	360	94			266	3
経常	妊婦乳児健診事業	妊婦14回 延べ3,446人 乳児2回 延べ 410人	委託料	26,059	23,002	6,713			16,289	3
経常	不妊治療費助成事業	一般治療 28件 特定治療 16件	扶助費	2,583	2,575				2,575	3
臨時	愛育会事業	親子交流事業 8か 所	委託料	543	262	259			3	3
経常	母子保健事務費	小児育成医療·難病患者·小児慢性特定疾患申請等	需用費	1,899	844	63			781	3
経常	保健センター運営事業	保健センター運営管理	需用費	3,347	3,062	377		434	2,251	2
		計		36,934	31,992	7,521	0	434	24,037	

2. 指標設定

_	**************************************										
	成	指煙	_{指標名} 安心して産み育てられ る環境づくり		る環境づくり 標 H27 総合計画/終期基本計画において、基本施等(1-2-1)の基						
	果	111777					総合計画 / 後期	総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-2-1)の基本目標としているた			
	指標	数值 — 年 度		1127	は				の坐不日禄としているた		
					及						
	活	指標	а	教室実施回数		b	健診受診率	С	不妊治療給付件数	d	訪問実施数
	動										
	指	数值	日標	24回	- 1	目標	95%	目標	20件	目標	_
	標	~ IE			١,	- 1/		- 1/4	11	- 1	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
安心して産み育てら		_	_	_
れる環境づくり				

4. 課題と対応

課題			
幼児健診未受診児の中に気になる児が多い。			
対応(改善点等)			

|幼児健診未受診者の実態把握をおこない、保護者の育児支援及び虐 | 待や要保護の早期発見、早期支援につなげていく。

活動指標名		単位	H 2 1		H 2 2		H 2 3		
。教室実施	教室実施		20	□	22	□	24	口	
a 回数		ш	83.3	%	91.7	%	100.0	%	
b	健診受診	%	93.80	%	90.15	%	91	%	
率率	%0	98.7	%	94.9	%	95.7	%		
	不妊治療	不妊治療	件	14	件	18	件	28	件
С	c 給付件数		70.0	%	90.0	%	140.0	%	
d	訪問実施	件	234	件	252	件	252	件	
u	数	1+	_		_		_		

5. 事業費・・・H21~H23 (決算額)、H24 (予算現額)

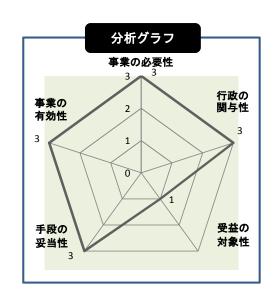
油	算額 (千円)	H21	H22	H23	H24
	开 识 (]/	25,542	32,279	31,992	39,407
うち経常経費		25,542	32,279	10,427	39,407
	国 費	200	71	252	85
財	県 費	3,665	6,016	7,269	9,228
源	市債				
内訳	その他		200	434	1
八百	一般財源	21,677	25,992	24,037	30,093
	うち経常	21,677	25,992	10,119	30,093
事業	美費に係る人件費	34,133	35,038	26,445	29,026

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
安心して産み育てられる環境 づくりのため、母子保健事業を 充実させる必要がある

7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	将来を担っていく子どもを安心して産 み育てることが市の総合計画に位置 づけられている
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	母子保健法により、自治体の責務と なっているため
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	1	母子に限定しているため
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のためには、現在のところ 有効な手段と思われる
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの効果があがっている ため



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	事業の精査に努め、効率的、効果的な事業実施を図ること。公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別進捗状況の整理を行うこと。